



第4章

課題整理と今後の方向性

- ✧ 1 課題の整理
 - (1) 久留米市の公共施設を取り巻く課題
 - (2) 現状分析から導かれる課題
 - (3) 課題解決に向けた方向性

- ✧ 2 今後の取組み



1

課題の整理

(1) 久留米市の公共施設を取り巻く課題

本市の公共施設を取り巻く環境から、以下のような課題が想定されます。

(第2章より)

① 広域合併

- ◆ 広域合併により公共施設の床面積が増加
80万㎡ ⇒ 105万㎡ (1.3倍)
- ◆ 設置目的や用途が同じ施設を各地域ごとに保有



現在の公共施設が、新・久留米市の人口や面積規模にふさわしい適正な保有状況にあるのか検証が必要です。

② 人口動向

- ◆ 人口減少 3.4万人減 (11%減)
H22 : 30.2万人 ⇒ H47 : 26.8万人
- ◆ 人口構造が大きく変化
 - ・ 高齢化率 2.1万人増 (10.7ポイント増)
H22 : 21.8% ⇒ H47 : 32.5%
 - ・ 年少人口 1.3万人減 (31%減)
H22 : 4.2万人 ⇒ H47 : 2.9万人



今後の人口減少、少子化・高齢化の更なる進行により、公共施設に求められる将来の需要が大きく変化していくことが想定され、公共施設を通じて提供している行政サービスの検証が必要です。

③ 財政状況

- ◆ 高齢化の進行による扶助費の増加に伴い、義務的経費が増加
- ◆ 歳入の増加が見込めない中、普通建設事業費は減少する見込み



歳入の増加が見込めない中、義務的経費は増加していくため、全ての施設の改修・建替えに必要な費用を確保していくことは非常に困難であり、施設に関するコストの検証が必要です。

(2) 現状分析から導かれる課題

本市の公共施設が抱える現状を分析し、以下のように課題を整理しました。

(第3章より)

視点① 総量と品質

公共施設の保有状況や老朽化など建物の品質に関する主な課題は、以下のとおりです。

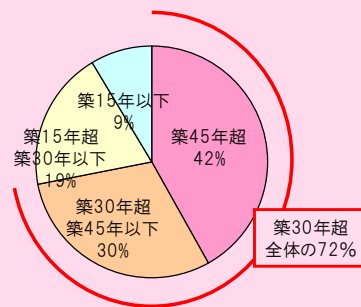
《 公共施設の保有量 》

- ◆ 本市の1人当たり公共施設床面積は3.38㎡/人で、中核市の平均(3.26㎡/人)と比べ、4%多く保有しています。

《 建物の老朽化 》

- ◆ 15年後の平成39年度には、公共施設全体の72%が築30年を超え、老朽化が進んだ施設の割合が一気に増加します。
- ◆ 平成40年度以降の15年間で全体の約42%の施設が築60年を超え、建替えが必要な時期が集中し、財政運営に大きな影響を及ぼします。

平成39年度の
建物築年数の状況



《 建物の品質 》

- ◆ 公共施設の95%が耐震化済みか耐震化の目途が立っている状況で、それ以外の施設も計画的に耐震化を進めていく予定です。
- ◆ 築年数が古い施設は、新しい施設と比較してバリアフリー化率が低くなっています。

《 適正な保有量と老朽化への対応 》

- ◆ 今後、他自治体の状況等も踏まえ、適正な保有量についての検討が必要です。
- ◆ 改修や建替えの時期が集中するため、建物の長寿命化の対策などピークを平準化するための検討が必要です。
- ◆ 今後も使用していく施設については、安全の確保(耐震化等)や超高齢社会への対応(バリアフリー化等)の検討が必要です。

視点② 需要と供給

公共施設の利用状況や必要な供給に関する主な課題は、以下のとおりです。

《 貸室等の利用状況 》

- ◆ 貸室等用途では、利用率が50%以下のものが4割以上あります。そのうち、利用率が25%以下のものが約2割あり、施設の規模や機能などが、利用ニーズに合っていない可能性があります。
- ◆ また、利用率が把握できていない貸室床面積が1万2千㎡あります。

《 学校の利用状況 》

- ◆ 現時点では、児童・生徒数が減少する一方で、特別支援学級や少人数学級への取組みのために学級数は増加しています。
- ◆ 今後も教育環境向上のための取組みが必要になると考えられる一方で、少子化が進んでいく中においては、学校施設の活用方法の検討が必要になると考えられます。

《 住宅の利用状況 》

- ◆ 市営住宅は、久留米市住生活基本計画や久留米市営住宅長寿命化計画に基づいて供給をしていますが、公共施設全体を見直す中では、市営住宅も一体となり見直す必要があります。
- ◆ 見直しにあたっては、民間賃貸住宅の供給状況や空き状況等を十分に踏まえ、市営住宅の供給量や役割、機能を検討する必要があります。

《 将来の需要予測と利用ニーズへの対応 》

- ◆ 現時点においても、施設の規模や機能が利用の実態に即していない状況が見受けられるため、現在の利用状況について、さらに調査・研究を行うことが必要です。
- ◆ 今後の人口減少や少子高齢化の進行に伴う将来の需要や利用ニーズの変化に対応するため、施設の有効活用や複合化等についての検討が必要です。

視点③ 費用と財政

公共施設の維持管理や改修・建替えの費用及び財政運営に関する主な課題は、以下のとおりです。

《 施設の維持管理費 》

- ◆ 施設の維持管理に要している費用は、全体で、年間約56億6千万円となっています。また、1㎡当りの維持管理費は、約5千4百円です。
- ◆ 今後、施設の老朽化が進むと維持管理に要する費用は増加していくと予測されます。

《 施設の改修や建替え費用 》

- ◆ 合併後の8年間に、施設の大規模改修や建替え・新設に要した事業費は、平均すると1年当り63億円です。
- ◆ 現在の施設面積を維持すると仮定した場合、今後40年間で合計4,471億円、平均するとこれまでの事業費の約1.8倍、年間約112億円が必要となります。
- ◆ 今後、扶助費の増加や合併に伴う特例措置の終了などにより、公共施設の改修や建替えなどに使用できる普通建設事業費は、縮小していくことが見込まれます。

《 厳しい財政状況への対応 》

- ◆ 維持管理費の削減のため、より効率的な施設の管理や運営についての検討が必要です。
- ◆ 改修及び建替え事業費の抑制のため、施設の有効活用や複合化、統廃合など施設総保有量の削減についての検討が必要です。

(3) 課題解決に向けた方向性

ここまで整理した課題を解決していくために、以下の方向性で今後の取組みを進めていきます。

今後の方向性

方向性1 量の見直し

市がこれまでに整備してきた多くの公共施設の老朽化が進行し、大規模改修や建替えを必要とする時期が集中的に訪れます。

しかし、今後の財政状況等を考えると、市が保有している公共施設の全てを建替え、将来にわたって維持していくことはできません。

今後、適正な公共施設の量と機能の見直しについて、検討を進めていきます。

方向性2 質の見直し

少子高齢化の進行や市民ニーズの変化などに対応しながら、公共施設を通じた市民サービスを継続的に提供していくためには、施設の安全性を確保したうえで、機能の維持・向上を図っていく必要があります。

そのため、施設の耐震化やバリアフリー化等を進めるとともに、適切で計画的な保全や維持管理の効率化を図り、施設の長寿命化に繋がる取組みを進めていきます。

取組みの推進にあたって

① 早急な取組み

公共施設にかかる課題は、市の財政運営に大きな影響を与えるものであるとともに、市民の皆様へのサービス提供にも大きく関わるものです。

時間が経過すれば事態は更に深刻化しますので、できる限り早急に課題解決に向けて取り組む必要があります。

② 全市的な取組み

公共施設にかかる課題への対応については、一部の施設又は一部の行政部局ごとの対応では、解決することができません。

また、公共施設は市民が広く利用する施設ですので、行政だけではなく、市民の皆様の協力を得ながら、市全体として総合的に取組みを進めていく必要があります。

③ 計画的な取組み

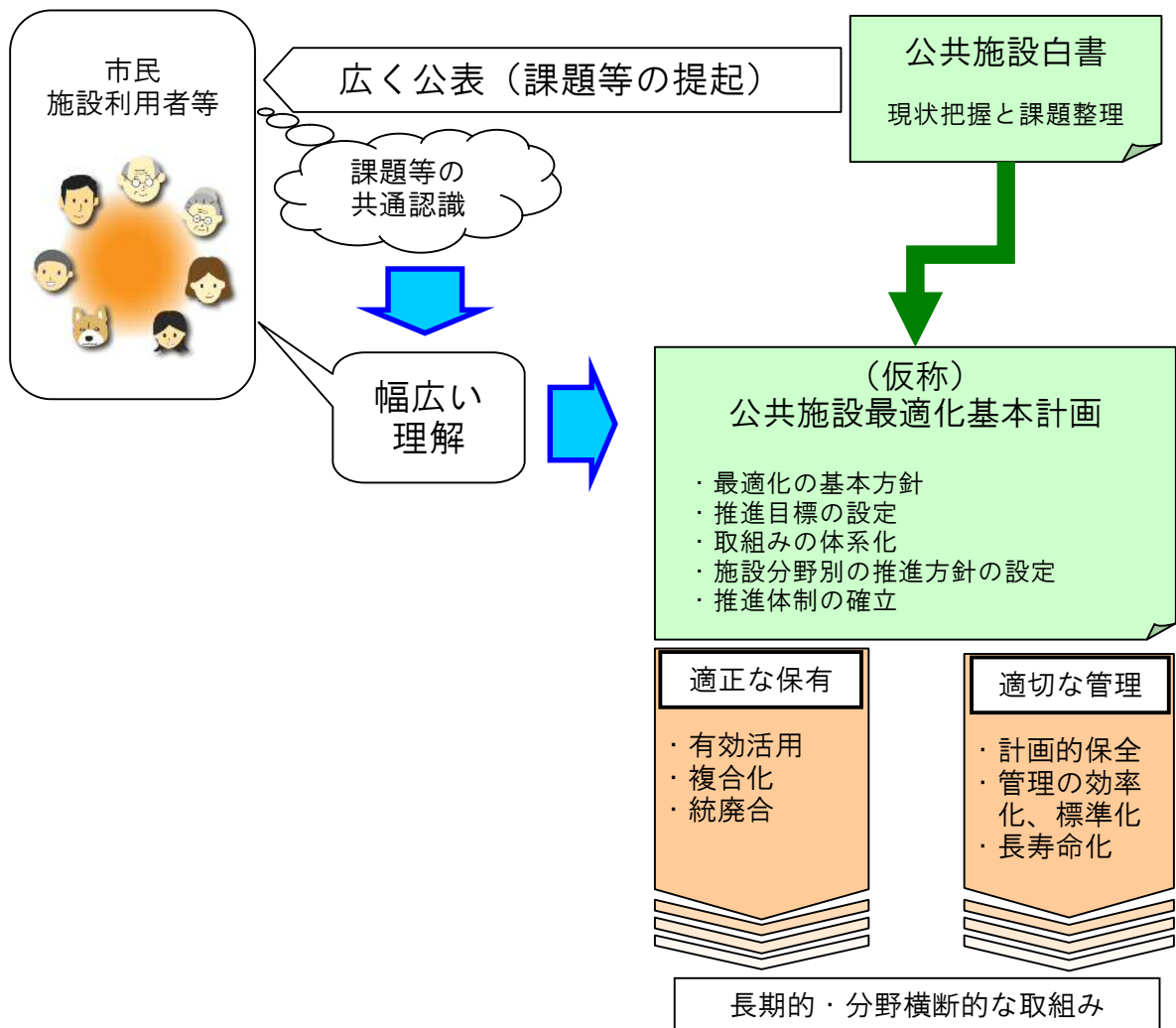
施設白書により現状分析や課題整理を行った後には、公共施設全体の見直しのための基本的な考え方を検討するなど、具体的な取組みにまで繋がるように、計画的に進めていく必要があります。

本書は、久留米市における公共施設の現状の分析を行い、課題を把握するために取りまとめたものです。

そして、この施設白書で整理した課題に的確に対応するための取組みを着実に進めていかなければなりません。

そのためには、市民の皆様と公共施設が抱える課題を共有し、全ての公共施設をあらゆる角度から総合的に見直していく必要があります。

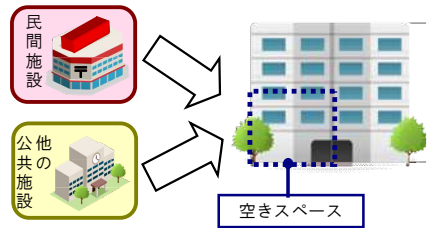
今後、この施設白書の内容を踏まえ、公共施設の最適化に向け、具体的な取組みを計画的に進めていきます。



取組み事例の解説

◆有効活用

- ・ 施設内の空きスペースや不要となった施設に、他の公共施設や民間施設（郵便局、スーパーマーケット等）を入居させた事例もあります。



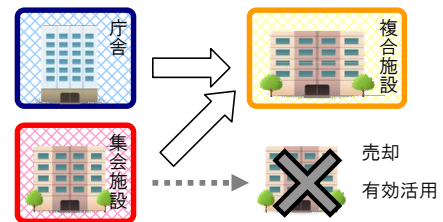
【施設の有効活用の例】久留米市教育センター

廃校となったコンピューターカレッジの校舎であった建物を、「教育センター」として有効活用しました。「教育センター」以外に、「包括支援センター」、「文化財収蔵庫」、「幼児教育研究所研修準備室」として使用しています。



◆複合化

- ・ 異なる機能を持つ複数の施設を1か所に統合するもの。
- ・ 不要となった建物等は、売却又は他の用途に有効活用します。



【施設の複合化の例】田主丸総合支所などの複合施設

田主丸総合支所の庁舎の老朽化に伴う建替えに際し、「総合支所」、「保健センター」、「地域包括支援センター」、「多目的運動室」、「校区コミュニティセンター」の5つの機能を合わせた複合施設として設置しました。



◆統廃合

- ・ 同じ機能を持つ複数の施設を1か所に統合するもの。
- ・ 不要となった建物等は、売却又は他の用途に有効活用します。

